



みんなの鎮守の森植樹祭の現況調査（八重垣神社）

令和三年度事業報告書（令和三年七月～令和四年六月）



田んぼ学校の再開

公益財団法人日本文化興隆財団
令和3年度 事業報告書
(令和3年7月～令和4年6月)

公益財団法人日本文化興隆財団

日本文化

公益財団法人 日本文化興隆財団

<https://www.nihonbunka.or.jp/>

公益財団法人日本文化興隆財団

■日本文化の興隆事業

■田んぼ学校の開催

日本の伝統精神、文化と切り離すことが出来ない「米作り」を体験して学ぶ「田んぼ学校」を平成19年より継続開催している。新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年の田植えより圃場体験は、感染防止の観点から募集を停止していたが、コロナ禍でも自宅で稻作体験ができるバケツを利用した稻作体験セット「おうちで田んぼ学校」をJAグループの協力で開発し、前年度に引き続き、50個限定で製作、参加者を募集をした。

令和4年6月12日(日)には、感染症対策を施し、募集人数を三分の一に縮小して、2年ぶりに圃場体験を再開することができた。

また、収穫された稲穂は、事務局で纏め、懸税として、神宮神嘗祭に奉納している。



公益財団法人日本文化興隆財団 × JAグループ



仕様：バケツ(10ℓ)・土(8ℓ)・種もみ・肥料

育て方マニュアル

教材費：2,200円(税込)

制作数：令和3年：50個・令和4年：50個 各限定製作

参加者：2年とも50名

主催：公益財団法人日本文化興隆財団

協力：JAグループ・株式会社農協観光

条件：①芽出し②種まき③苗の移し替え④中干⑤実り
⑥稻刈りの様子をツイッターに投稿できる方。

第14回



日程：令和3年度の稻刈りは中止

令和4年6月12日(日) 田植え再開

会場：古宮神社(茂木貞純宮司)及び近接圃場
(埼玉県熊谷市)

参加者：23名(大人14名・小人9名)
※通常期は約100名が参加

参加費：大人11,600円・小人9,600円
(往復貸切バス・田植え・稻刈りセット)

主催：公益財団法人日本文化興隆財団
協力：古宮神社
株式会社農協観光



おうちで田んぼ学校参加者のツイート



■日本文化セミナー

各種セミナーの開発に努め、歴史や伝統文化に培われた我が国固有の精神文化を学ぶ独自の講演会及び、各種研修会等を開催する目的から、以下のセミナーを開催した。

○古事記講座「日本を元気にする古事記のこころ」

『古事記』の一般的な解釈講座ではなく、その紙背にある心を解釈する講座を毎月1回定期開催してきたが、感染症拡大により不定期開催とした。

また、在宅でも受講できるオンライン配信も開始した。

日時：①令和4年2月21日(月)

②令和4年3月14日(月)

③令和4年4月18日(月)

各18時20分～19時50分

会場：公益財団法人日本文化興隆財団

講師：小野善一郎(國學院大學講師・渋川八幡宮宮司)

○大祓詞講座「大祓詞のこころ」

一般を対象に、大祓詞の解釈を中心として日本人が生み出した「祓」の精神を学ぶ講座を毎月1回定期開催してきたが、感染症拡大により不定期開催とした。

また、在宅でも受講できるオンライン配信も開始した。

日時：①令和3年10月25日(月)

②令和3年12月20日(月)

③令和4年5月23日(月)

④令和4年6月27日(月)

各18時20分～19時50分

会場：公益財団法人日本文化興隆財団

講師：小野善一郎(國學院大學講師・渋川八幡宮宮司)

○新嘗祭講座「新嘗のこころ」

日本文化の根底にある「稻作」と新嘗祭のこころを学び、稔りの喜びと感謝を学ぶことを目的として開催した。

日時：令和3年11月22日(月) 18時20分～19時50分

会場：公益財団法人日本文化興隆財団

講師：小野善一郎(國學院大學講師・渋川八幡宮宮司)

○特別展「『日本書紀』撰録1300年-神と人を結ぶ書物-」後援

感染症拡大で順延されてきた國學院大學博物館主催の同特別展を後援した。

本展では、國學院大學と神社が所蔵する『日本書紀』の貴重な古写本や注釈書を展示し、奈良時代から中古・中世・近世にかけて『日本書紀』が“神と人とを結ぶ書物”として、如何に日本の文化や思想に影響を与えてきたのか、また、皇典講究所・國學院における『日本書紀』研究の歩みも展示。

会期：令和3年9月16日(木)～11月13日(土)

会場：國學院大學博物館企画展示室・校史展示室

主催：國學院大學博物館・國學院大學研究開発推進センター
國學院大學校史・学術資料研究センター

後援：公益財団法人日本文化興隆財団・神社本庁
一般財団法人神道文化会



令和3年度 公益目的事業1 日本の伝統精神と文化を伝える事業

■鎮守の森保全活動

平成24年6月から平成27年6月の3年間にわたり、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏指導のもと東日本大震災で被災した全11箇所の神社において計21,318本の常緑広葉樹を主体に植樹祭を開催し、その後、補植を含めた森の育成観察を続けているが、東日本大震災から10年が経過したことから、協力団体の専門家による調査報告書を纏めることとなり、現地調査及びドローンによる空撮調査もおこなった。

調査団体：公益財団法人日本文化興隆財団・NPO法人国際ふるさとの森づくり協会・NPO地球の緑を育てる会

エスペックミック株式会社

調査地：福島県、宮城県の植樹地会場（11箇所）

調査日：現地調査 令和3年7月21～23日

①八重垣神社（宮司：藤波祥子）

鎮座地：宮城県亘理郡山元町高瀬笠野128

植栽日：平成24年6月24日（日）

参加者：530名 植樹本数：3238本

【現況】高木層は5～6mでタブノキが優占。高木層から亜高木層は約5mでタブノキの他、スダジイ、モチノキ、アカガシ、シロダモ、ヤマザクラなどで構成される。低木層は2～3mでネズミモチ、ヤブツバキ、シラカシ、ウラジロガシなどで構成される。高木、亜高木で植栽された10種はいずれも良好に生育している。

最大樹高はタブノキで6mであった。

最大樹高 6.0m(タブノキ)



②吉田浜神明社（宮司：三品正隆）

鎮座地：宮城県亘理郡亘理町吉田字須賀畠108

植栽日：平成24年8月14日（火）

参加数：250名 植樹数：1118本

【現況】高木層は約4.5mでタブノキ、スダジイで構成される。高木層から亜高木層は約3～4mで上記2種の他、モチノキ、アカガシ、シラカシ、ネズミモチなどで構成される。低木層から亜高木層は2.5mでウラジロガシ、ヤマザクラ、ヤブツバキなどで構成される。低木層は約1.5mで被圧木のほかシロダモが含まれる。

高木、亜高木で植栽された10種はいずれも生育が確認された。

最大樹高はタブノキで4.5m、目通り直径8.8cm、スダジイで4.6mであった。

最大樹高 4.5m(タブノキ)



③青巣稻荷神社（宮司：藤本和敏）

鎮座地：宮城県亘理郡山元町山寺字浜96

植栽日：平成25年4月29日（月）

参加数：350名 植樹数：2448本

【現況】高木層は6～7mでスダジイ、タブノキ、ヤマザクラ、シラカシ、アカガシなどで構成される。亜高木層は約3～4mでシラカシ、アラカシ、ウラジロガシ、アカガシ、モチノキなどで構成される。低木層は2mでヤブツバキ、ネズミモチ、シロダモなどで構成される。

最大樹高はスダジイで7.5m、目通り直径9.7cm、タブノキは6m、目通り直径9cmであった。コナラも生育し、樹高6mに成長している。

最大樹高 7.5m(スダジイ)



④川口神社（宮司：渡邊恵理子）

鎮座地：宮城県亘理郡亘理町荒浜字明神西190-1

植栽日：平成25年5月3日（金）

参加数：250名 植樹数：1811本

【現況】高木層は約6～7mでタブノキ、スダジイ、ヤマザクラ、ウラジロガシで構成される。亜高木層は約3～4mでアカガシ、シロダモ、モチノキ、ネズミモチなどで構成される。低木層は2mでヤブツバキの他被圧木で構成される。

高木、亜高木で植栽された10種はいずれも良好に生育している。

最大樹高はタブノキで7m、目通り直径11cmであった。

最大樹高 7.0m(タブノキ)



⑤鳥海塩神社（宮司：三品正隆）

鎮座地：宮城県亘理郡亘理町長瀬字大橋199

植栽日：平成25年7月7日（日）

参加者：550名 植樹数：2123本

【現況】高木層は約4～6mでタブノキ、スダジイ、ヤマザクラで構成される。亜高木層は約3～4mで上記3種の他、アカガシ、ウラジロガシ、シラカシ、モチノキなどで構成される。

低木層は1～2mでヤブツバキ、シロダモ、ネズミモチなどで構成される。

高木、亜高木で植栽された10種はいずれも良好に生育している。

最大樹高はタブノキで6.5m、目通り直径9.4cmであった。

最大樹高 6.5m(タブノキ)



⑥伊去波夜和氣命神社（宮司：大國龍笙）

鎮座地：宮城県石巻市大宮町5-45

植栽日：平成26年4月6日（日）

参加数：350名 植樹数：3650本

【現況】高木層は約5mでタブノキが優占する。亜高木層は約4mでタブノキの他シラカシで構成される。低木層は1～2mでモチノキ、ヤマザクラ、ウラジロガシ、カクレミノ、ユズリハ、アカガシ、サカキ、ヤブツバキなどで構成される。高木、亜高木で植栽された11種はいずれも生育が確認された。

最大樹高はタブノキで5m、目通り直径10cmであった。

最大樹高 5.0m(タブノキ)



⑦見渡神社（宮司：高木美郎）

鎮座地：福島県いわき市久之浜町金ヶ沢

植栽日：平成26年4月27日（日）

参加数：280名 植樹数：790本

【現況】高木層は約5mでヤマザクラ、タブノキ、スダジイで構成される。亜高木層は約3～4mでシラカシ、アラカシ、ウラジロガシ、アカガシ、モチノキなどで構成される。低木層は1～2mでサカキ、ヤブツバキ、シロダモ、ユズリハ、カクレミノなどで構成される。高木、亜高木で植栽された13種はいずれも良好に生育している。最大樹高はヤマザクラで5.6mであった。

最大樹高 5.6m(ヤマザクラ)



⑧新山神社（宮司：千葉秀司）

鎮座地：宮城県石巻市雄勝町上雄勝3-35

植栽日：平成26年5月3日（土）

参加数：200名 植樹数：2800本

【現況】植栽後から草食獣（鹿）の食害が拡大し、植栽11種のうち5種は消失した。高木層は約5.5～7mでヤマザクラが優占する。亜高木層は約4mでアカガシとユズリハが生育している。最大樹高はヤマザクラで7mであった。新山神社の森は、シカの食害圧力と近隣で行われる復興工事による抑制効果、そして苗木の成長速度とのバランスの結果成立したものである。この地ならではの潜在自然植生の姿のひとつと言える。

最大樹高 7.0m(ヤマザクラ)

鹿食害発生



⑨五十鈴神社（宮司：千葉秀司）

鎮座地：宮城県石巻市雄勝町分浜字分浜238

植栽日：平成26年7月6日（日）

参加数：400名 植樹数：3330本

【現況】植栽以降、草食獣（鹿）の食害が拡大し、植栽11種のうち9種は消失した。ヤマザクラとシロダモのみ生育する。ヤマザクラは最大樹高6.3m、8個体が生存。シロダモは最大樹高4.6m、6個体が生存。後日植栽されたクスノキは樹高3m、コナラは樹高3.3mに成長している。林縁低木はほぼ消失している。シカが忌避するシキミと後日植栽されたアセビが生存している。人間活動とシカの食害圧力と苗木の成長速度のバランスが崩れると、樹林化さえ困難となる。五十鈴神社は貴重な知見を与えてくれた。

最大樹高 6.3m(ヤマザクラ)

鹿食害発生



⑩山田神社（宮司：森 幸彦）

鎮座地：福島県南相馬市鹿島区北海老字磯ノ上

植栽日：平成27年5月3日（日）

参加数：500名 植樹数：2970本

【現況】高木層は約5mでタブノキが優占する。亜高木層は約3mでスダジイが目立つ。他にウラジロガシ、モチノキ、ヤマザクラも3m程度に成長している。亜高木層へ低木層にかけての樹高2m程度でアカガシ、アラカシ、シラカシ、カクレミノが生育している。高木、亜高木で植栽された13種はいずれも良好に生育している。最大樹高はタブノキで5m、目通り直径7cmであった。コマツナギ、ツリガネニンジン、ワレモコウなど在来の半自然草地の植物が多く生育している。

最大樹高 5.0m(タブノキ)



⑪八幡神社（宮司：鍵 三夫）

鎮座地：宮城県多賀城市宮内1-2-50

植栽日：平成27年6月14日（日）

参加数：1000名 植樹数：6024本

【現況】植栽規模は最大である。高木層は約5～6mでタブノキ、ヤマザクラで構成される。亜高木層は約3～4mでアカガシ、シラカシ、ウラジロガシ、シロダモ、モチノキ、ユズリハ、サカキなどで構成される。低木層は2.5mでヤブツバキとキンモクセイ、被圧木などで構成される。高木、亜高木で植栽された13種はいずれも良好に生育している。最大樹高はタブノキで6mであった。

最大樹高 6.0m(タブノキ)



■鎮守の森保全活動

「筑波山 水源の森づくり」に事業協力

茨城・筑波山の植生を自然に近い状態に戻す試みとして、NPO地球の緑を育てる会が主催する「筑波山水源の森づくり」に事業協力をおこなった。

筑波山は世界恐慌から資源確保のためスギ、ヒノキの植林が提唱されたが、輸入材による需要減少により森の管理が難しい状況となっていたことから、宮脇昭氏が提唱してきた潜在自然植生の森への転換を目指す試みを続けている。当財団からはスタッフの派遣を行い、スダジイ、タブノキなど広葉樹10種の苗木約1,000本を植樹した。

開催日：令和4年6月5日（日）

場 所：筑波山（筑波山神社）

参加者：約300名

主 催：NPO地球の緑を育てる会

協 力：公益財団法人日本文化興隆財団



■季刊誌『皇室』の頒布普及事業

季刊誌 皇 室



季刊誌『皇室』を年4回定期発行し、令和3年度は91号から94号を刊行した。93号、94号では、20歳の誕生日を迎えた敬宮殿下のご成年の祝賀行事とご近況、初めての記者会見の模様と20年のご足跡を特集するなど、不特定多数に向けて、更なる皇室への理解促進と皇室文化を通した日本文化の啓発を図る活動を展開した。

また、広報活動では、日本宝くじ協会の助成金による、全国の公立図書館3,100箇所、地方自治体議会図書館400箇所、計3,500箇所への寄贈活動を継続しておこなった。

季刊誌『皇室』公式 Twitterを開設

令和3年9月に、季刊誌『皇室』公式 Twitter（ツイッター）を開設し、最新号の案内や、バックナンバーの記事、ご動静や日本文化の関連記事を掲載するなど、不特定多数に向けた広報をおこなった。



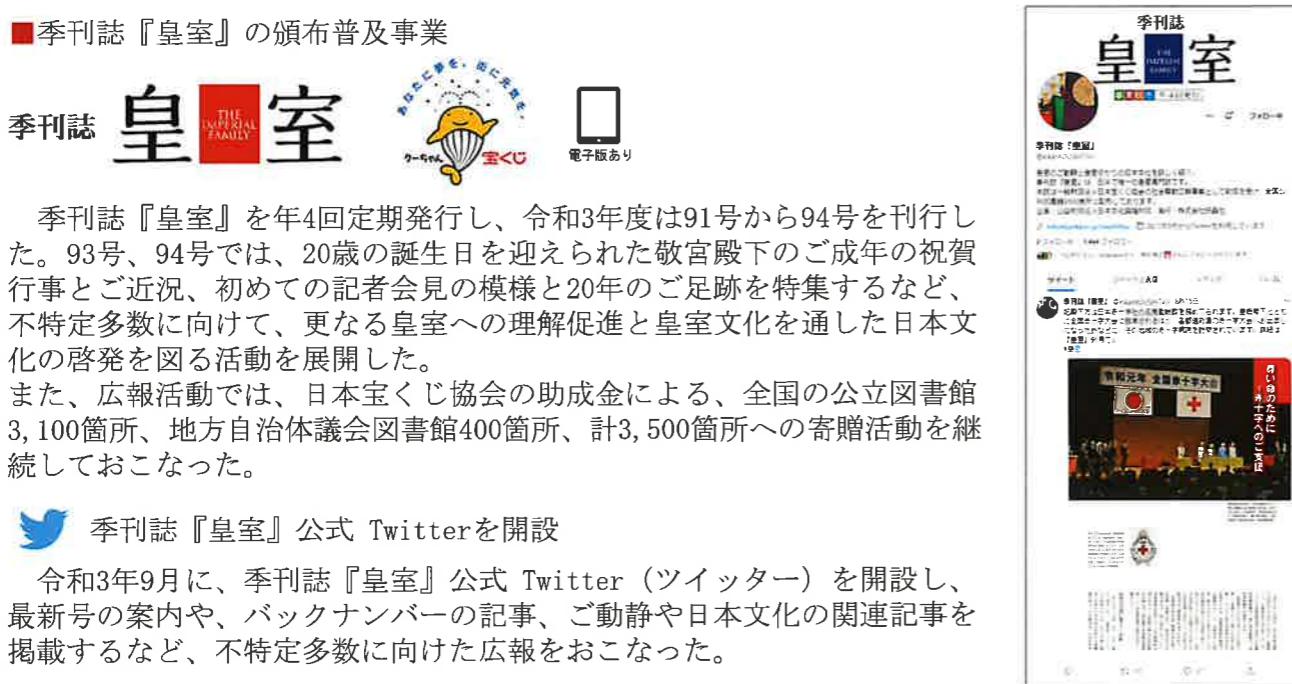
第94号（令和4年春号）

- ◇天皇陛下 お誕生日に際しての記者会見
- ◇大特集 敬宮殿下 ご成年をお祝いして
初めての記者会見
写真でつづる 20年のご足跡
- ◇特集 近現代の皇女たち



第92号（令和3年秋号）

- ◇「海づくり大会」と両陛下
- ◇大特集 豊かな国土への祈り
- ◇天皇・皇后両陛下が皇居の新御所へ
- ◇秋篠宮皇嗣妃殿下 お誕生日文書ご回答
- ◇有識者会議が発表「今後の整理の方向性」



公式ツイッター



第93号（令和4年冬号）

- ◇慶祝 敬宮殿下ご成年 清楚に、初々しく
- ◇「国民文化祭」と両陛下
- ◇大特集 文化・芸術の守り手として
- ◇皇后陛下 お誕生日に際してのご感想
- ◇小室眞子さん・圭さん ご結婚記者会見



第91号（令和3年夏号）

- ◇国民体育大会と両陛下
- ◇大特集 皇室とスポーツ
- ◇令和3年歌会始 お題は「実」
- ◇よみがえる正倉院宝物 第2回
- ◇春日若宮式年造替 外遷宮

■検定事業

第10回神道文化検定（神社検定）をオンラインで開催



神社、神道、日本文化の理解促進を図る事業として全国で開催しているが、令和4年で第10回を迎える、全国から2,793名が申し込み、令和4年6月26日（日）に開催した。第1回からの累計受験者数は4万人を超えた。

感染症拡大により、昨年の第9回に引き続き、感染症対策により、会場試験を一時中断してオンラインでの開催を継続した。オンライン上で合否判定は、7月14日（木）に公式サイトにて発表し、郵送での成績通知は8月31日を予定している。

主 催：公益財団法人日本文化興隆財団

監 修：神社本庁

後 援：一般財団法人神道文化会、株式会社扶桑社

日 程：令和4年6月26日（日）

実施内容：初級・壹級・弐級・参級試験

受 檢 料：壹級7,200円・弐級6,100円・参級5,000円・初級3,000円



第10回ポスター



公式ツイッター



広報活動

○Twitter（ツイッター）の活用

神社検定公式Twitterでも神社の基礎知識や季節の歳時記など多様な情報を提供しており、フォロワー数も2万人を超えた。

○ホームページのリニューアル

第10回開催を記念し、ホームページのデザイン及び内容を一新した。

○インターネットラジオ「ADee（オーディー）」の活用

東京FMが運営するインターネット配信ラジオで、神社検定が提供する番組

「神社の時間」を昨年に引き続き制作、配信した。同番組は、同検定参級合格者の俳優・崎山つばさがパーソナリティーを務め、毎回ゲストを迎え、神社検定の問題を解きながら神社の話題を中心としたトーク番組として構成され、若年層を対象に神社や神道への理解促進を図った。

【番組概要】

◇配信日時：毎週土曜日12時配信開始（全13回）

◇パーソナリティ：俳優・崎山つばさ

◇提供：公益財団法人日本文化興隆財団

◇聴取方法：スマホアプリまたはWEBサイト

◇ゲスト出演者



俳優・黒羽麻璃央

ミュージシャン 安井謙太郎



声優・増田俊樹



元宝塚・七海ひろき



芸人・すゑひろがりず



アナウンサー・住吉美紀



元乃木坂46・山崎怜奈

■皇室敬慕に関する事業

国民の皇室への敬愛の念を育む各種文化事業、広く国民のその趣旨を伝える奉祝事業を推進することを目的に、平成31年4月に「天皇陛下御即位三十年奉祝感謝の集い」を国立劇場で、令和元年11月には、皇居前広場に7万人を集めた「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」を開催し、一連の奉祝事業は終了したが、

令和3年度は、記録集『平成から令和へ』、『天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典』フォトグラフの頒布を継続した。

令和3年7月1日に開催した「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」で、人気アイドルグループの「嵐」が歌唱した「Journey to Harmony」（当財団が原盤権を所有）などが収録されたCD「カイト」（通常盤）の収益の一部が、株式会社ジェイ・ストーム（代表取締役：藤島ジュリー景子）より、海外で人道支援活動をおこなっている特定非営利活動法人AAR Japan【難民を助ける会】（長有紀枝会長）に対し、1,000万円が寄付された。

同奉祝曲は、天皇陛下が長年の研究分野とされている「水」をテーマにした3部構成の奉祝曲となっており、天皇陛下のご発言にある「豊かな水が世界の平和、繁栄、幸福をもたらす」ことを表すものとして制作された経緯から、実際に水を必要とする地域のために役立てる方向で検討が進み、この分野で活動実績があるAAR Japan【難民を助ける会】に水・衛生改善事業への寄付となった。

同寄付金は、経緯を踏まえ、①スーダンに流入したエチオピア難民に対する水環境整備、②アフガニスタンの公立学校の水衛生環境整備の2つの事業に活用される。



特定非営利活動法人 難民を助ける会（AAR Japan）団体概要
所在地

東京事務局（本部）
〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル7F

佐賀事務所（国際理解教育事業）

〒840-0826 佐賀県佐賀市白山1-4-28 佐賀白山ビル303号室
設立

1979年11月24日
(2003年に国税庁より「認定NPO法人」に認定)

役員
会長 長有紀枝立教大学教授
副会長 加藤タキ 株式会社タキ・オフィス代表取締役
理事長 堀江良彰 社会福祉法人さぼうと21事務局長

■国旗小旗の無償頒布を通した国旗啓発事業

当財団の公益事業の柱として、毎年全国敬神婦人連合会のボランティアによる協力を得て、約11万本の奉製を戴き、国旗啓発事業として、各種団体に向けた助成事業をおこなっているが、新型コロナ感染症拡大の影響で各種奉祝行事や大会、イベントの開催が減少し、作成本数及び助成申請も大幅に減少していたが、令和3年度は、神道青年全国協議会の協力を得て、令和3年7月23日から9月5日まで開催された東京オリンピック期間中にテレビ観戦を通した応援と国旗の意義啓発を図るべく、全国の神社の社頭を通して、国旗小旗42,550本を無償で頒布いただき、コロナ禍においても事業の継続をおこなった。

《頒布数》

令和元年度：申請受理件数71件/申請本数75,200件/助成本数49,530本

令和2年度：申請受理件数23件/申請本数11,550本/助成本数 5,450本

令和3年度：申請受理件数28件/申請本数60,050本/助成本数54,986本（内42,550本は神青協）

申請団体	頒布行事名	申請本数	頒布本数
神道青年全国協議会	東京オリンピック 国旗小旗頒布事業	42,950	42,550
家島神社	家島神社大祭船渡御	2,200	2,200
北海道神社庁札幌支部青年神職文月会	日の丸ふって日本代表を応援しよう	500	500
花巻神社	夏宵祭(オリンピック自宅応援)	1,000	500
日の丸行進の会	第119回日本唱歌を歌う日の丸行進	200	100
白山神社	夏祭及びオリンピック自宅応援	1,000	1,000
日の丸行進の会	第121回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	中止
自衛隊を応援する出雲市民の会	出雲駐屯地記念行事市中パレード	1,000	中止
日の丸行進の会	第122回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	100
日の丸フェスティバル実行委員会	日の丸フェスティバル	1,500	1,500
日の丸行進の会	第123回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	100
日本会議 恵庭支部	北海道恵庭市 令和3年成人式	500	347
日本会議 恵庭支部	北海道恵庭市・千歳市 令和4年成人式	800	759
日の丸行進の会	第124回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	80
須賀川市建国記念の日奉祝実行委員会	須賀川市建国記念の日記念講演会	500	100
日の丸行進の会	第125回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	100
日の丸行進の会	紀元節・櫛原神宮参道にて小旗配布	1,000	1,000
日本会議福岡	日本の建国をお祝いする集い	500	中止
日本会議 福岡県南支部	日本の建国をお祝いする市民の集い	500	中止
日本の建国をお祝いする家族の会	日本の建国をお祝いする集い	150	150
浜松市建国記念の日奉祝運営委員会	浜松市建国記念の日奉祝式典	700	700
建国記念の日を祝う宮城県民大会実行委員会	第56回建国記念の日を祝う宮城県民大会	500	250
日本の建国を祝う会	建国記念の日 奉祝記念行事	500	500
第126代天皇陛下お誕生日をお祝いする千葉県民の会	第126代天皇陛下お誕生日をお祝いするご記帳会	300	300
日の丸行進の会	第129回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	100
山形県神社庁	山形県神社関係者大会	1,000	
日本会議青森県本部青森支部	陸上自衛隊市中パレード	2,000	2,000
日の丸行進の会	第130回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	50
	合計	60,050	54,986

■ 硫黄島訪島事業

硫黄島戦没者への慰靈と硫黄島訪島の貴重な体験を通して、国の歴史と向き合い、自国を誇ることができる歴史観を養うことを目的に硫黄島での戦没者御遺族関係者や青少年などを対象に、公益社団法人日本青年会議所と共に、内閣府と厚生労働省の後援を得て、平成27年から実施している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となったが、令和3年度は、感染症対策により、防衛省から輸送機定員の半数に制限されたが継続開催することができた。

場 所：硫黄島（東京都小笠原村）
共 催：公益財団法人日本文化興隆財団
公益社団法人日本青年会議所関東地区
協議会

後 援：内閣府・厚生労働省
日 程：令和3年11月16日（火）～17日（水）
〔16日〕
結団式・勉強会（埼玉県入間市）

〔17日〕

ホテル発

航空自衛隊入間基地発

硫黄島着後昼食

戦没者の碑にて慰靈祭斎行

島内視察

硫黄が丘

兵団司令部壕跡

海軍医務科壕跡

大阪山砲台跡（摺鉢山中腹）

摺鉢山頂上

米軍上陸海岸

硫黄島発

航空自衛隊入間基地着

参加者：硫黄島戦没者御遺族関係者5名

当財団事務局2名

（高清水有子理事・職員1名）

ほか日本青年会議所関係者45名

参加費：一人100,000円



■ 建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト後援事業

2月11日の建国記念の日に開催される「建国記念の日奉祝記念 建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト」を後援し、国旗小旗の提供、職員の派遣、助成金の交付をおこなっているが、令和2年度に続き、感染症拡大により、首都圏を中心とする大学のマーチングコンテストは、中止となったが、規模を縮小し、子供たちによる鼓笛隊や手古舞、お囃子、神輿10基が表参道をパレードした。

例年は、首都圏を中心とする大学のマーチングバンド、神輿連合など約7,000人が、神宮外苑の銀杏並木から明治神宮までの約2.7キロをパレードしている。



■ 物品頒布事業

公益事業の推進に資するべく、日本文化に関連した各種取扱品の頒布に努めている。令和3年度は、前年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、研修会などのテキスト、絵本などの贈答品関係に関しては、大幅な減収となった。

新たな事業品の開発及び衛生用品など新たな取扱品数を追加し、事業品カタログの改訂版を製作して広報に努めた。

■ テナント及び貸会議室の施設運営

○施設竣工から17年が経過し、各所の修繕をおこなった。

①一部事務所内照明をLED化

当財団事務所及び公益社団法人全日本佛教婦人連盟（205号室）の蛍光灯が経年劣化により安定器の故障が続き、順次LED照明へ改修した。

②会議室音響・映像システムの修繕工事

従来のRGB（アナログ）からHDMI（デジタル）へ改善し、利便性の改善を図った。

③Wi-Fi環境の充実

貸会議室のWi-Fi利用者の急増に対応するべく、会議室及び共用部のWi-Fi環境の強化を図った。

④空調設備のオーバーホール

経年劣化による空調設備の故障に対応するべく、財団事務所、202号室から206号室、ロビー、エントランスの室外機の基盤、冷媒等の全面交換をおこなった。

⑤大規模修繕工事の実施

平成17年に竣工した当財団施設及び上階マンション部については、築17年が経過し、外壁部を中心として建物全体に経年劣化がみられることから、大規模修繕が必要となり、当財団とマンション部所有者の東急不動産リード・マネジメント（株）で構成されるコンフォリア北参道管理組合にて工事発注にかかる工事請負契約を締結した。

工事期間は、令和4年5月から11月を予定している。



大規模修繕工事の模様

○ テナント事業

次の団体がテナントとして入居している。

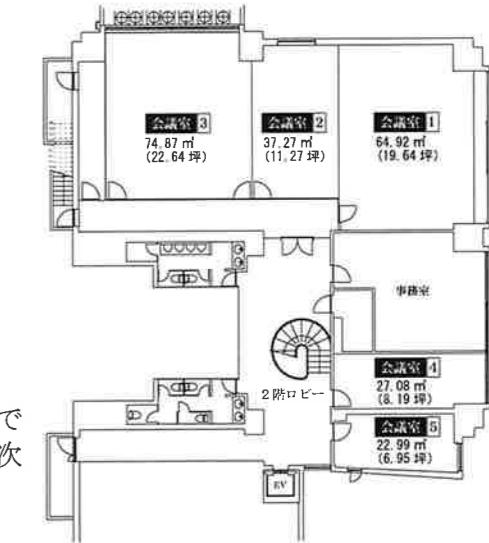
202号室 貸会議室

203号室 貸会議室

204号室 一般社団法人日本国際文化協会

205号室 公益社団法人全日本佛教婦人連盟

206号室 有限会社村上



○ 貸会議室の施設運営

新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言発出の影響で近隣企業の各種研修会、諸会議、展示会等のキャンセルが相次ぎ利用数は、コロナ前と比較し、約40%減少した。

〔貸会議室概要〕



第1会議室
(20坪・定員46名)

第2会議室
(11坪・定員20名)

第3会議室
(23坪・定員48名)

第4会議室
(8坪・定員16名)

第5会議室
(7坪・定員12名)

令和3年度 庶務概要

役員に関する事項

理事(10名)

役名	氏名	役職名
理事長	田中 恒清	(宗)神社本廳総長
副理事長	吉川 通泰	(宗)神社本廳副総長
理事	市川 伊三夫	久光製薬(株)取締役
理事	石原 信雄	野村證券(株)顧問
理事	國分 正明	(公財)東京オペラシティ文化財団理事
理事	打田 文博	(公財)昭和聖徳記念財団評議員
理事	田尾 憲男	鉄道情報システム(株)特別顧問
理事	大原 康男	國學院大學名誉教授
理事	内田 智	弁護士
理事	齊藤 有子(高清水 有子)	皇室評論家

監事(2名)

役名	氏名	役職名
監事	藤江 正謹	(宗)神社本廳監事
監事	小關 笑子(小関 微笑子)	(一社)日本国際文化協会常務理事

評議員(5名)

役名	氏名	役職名
評議員	小野 貴嗣	(宗)神社本廳常務理事
評議員	西高辻 信良	公益財団法人太宰府顕彰会会长
評議員	久田 哲也	(宗)神宮 財務部長兼綜合企画室長
評議員	茂木 貞純	古宮神社宮司・元國學院大學教授
評議員	橋本 寿史	(株)フジテレビジョン報道局解説員

[参考]

○役員(理事・監事)について

定款第21条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事5名以上10名以内

(2) 監事1名以上 3名以内

2 理事のうち、1名を理事長とし、副理事長を1名置くことができる。

3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副理事長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

○評議員について

定款第10条 この法人に評議員5名以上15名以内を置く。

令和3年度 庶務概要 諸会議(令和3年7月～令和4年6月)

日時：令和3年8月25日(水)11時00分～11時58分 場所：神社本庁地下一階会議室 出席理事：8名

【報告事項】

1、前理事会以降の職務執行状況について

2、その他

【審議事項】

1、令和2年度事業報告について

2、令和2年度決算について

3、任期満了による理事の改選について

4、施設維持管理積立金・国民精神昂揚事業推進基金の取り崩しについて

5、第10回神道文化検定(神社検定)開催について

6、参与の異動について

7、定時評議員会開催について

8、その他

書面決議

理事会の決議があったとみなされた日：令和3年9月14日(火) 同意理事：10名

【審議事項】

1、理事 田中恒清を代表理事に選定し、理事長とする。

2、理事 吉川通泰を業務執行理事に選定し、副理事長とする。

日時：令和4年5月10日(火) 14時02分～15時01分 場所：神社本庁地下一階会議室 出席理事：6名

【報告事項】

1、前理事会以降の職務執行状況について

2、神道文化検定(神社検定)について

3、季刊誌『皇室』について

4、その他

【審議事項】

1、令和4年度事業計画(案)について

2、令和4年度予算(案)について

3、施設維持管理積立金・国民精神昂揚事業推進基金の取り崩しについて

4、参与の異動について

5、その他

書面決議

評議員会の決議があったものとみなされた日：令和3年7月12日(月) 同意評議員：5名

【審議事項】

評議員選任の件

孫福弘明氏の辞任に伴う後任評議員に、久田哲也(神宮司廳財務部長兼総合企画室長)氏を選任する。

日時：令和3年9月9日(木) 13時02分～13時57分 場所：日本文化興隆財団会議室 出席評議員：3名

【報告事項】

1、第10回神道文化検定(神社検定)開催について

2、その他

【審議事項】

1、令和2年度事業報告について

2、令和2年度決算について

3、任期満了による理事の改選について

日時：令和3年8月24日(火) 16時36分～17時20分 場所：神社本庁地下一階会議室 出席監事：2名

1、令和3年度予備監査報告

2、令和3年度事業及び決算報告

3、諸帳簿・伝票等照合

4、監査報告書署名

5、その他

日時：令和4年2月25日(金) 13時52分～14時25分 場所：神社本庁3階会議室 出席監事：2名

1、令和3年度中間監査報告(予備監査)

2、令和3年度事業及び決算報告(中間)

3、諸帳簿・伝票等照合

4、監査報告書署名

5、その他

令和3年度事業報告 附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年9月2日